



Network Japan

「GCNJ 未来への羅針盤」構想

企画のご案内

GLOBAL COMPACT NETWORK JAPAN



HUMAN RIGHTS



LABOUR



ENVIRONMENT



ANTI-CORRUPTION

GCNJ 未来への羅針盤構想とは

- GCNJは、新たな発展段階である第三フェーズに入ることを2020年度総会で宣言しました。そして2020年は、気候危機の実感が高まる中で発生した新型コロナウイルスをきっかけに、社会も人も大きく変化しようとしています。
- このような激動の時代に、企業はどこを目指して進めばいいのか？企業がこれを考える際のガイドとなる、人間と環境を中心に据えた羅針盤を創ることがこの企画の目的です。
- 未来への羅針盤構想は次の2つから構成されます。
 - ① 2050年のあるべき社会像を描く
 - ② 2050年にそれを実現できるように、2030年までの10年間の日本企業にとってのロードマップを作成する。
- 日本の企業は未来への羅針盤を、自社のマテリアリティの特定、中長期計画の作成、SDGs計画作成などに活用できます。
- そして、GCNJにとっての行動の10年計画の目標は、未来への羅針盤を日本の多くの企業に広めることで、国連10原則を広め、SDGsの達成に貢献することです。
- GCNJはあるべき社会像の実現に向けて、多くの企業のポテンシャルを引き出して、社会変革に取り組んでいきます。



Network Japan



未来への羅針盤構想

未来への羅針盤構想とは、GCNJ未来への羅針盤を日本企業へ普及することを含めたものです

GCNJ未来への羅針盤

ミレニアル・Z世代の意見
・Diversity・多様な業種

Vision: 2050年のあるべき社会像
社会・企業像とその中の私

バック
キャスト

人間と環境を重視した
日本企業の2030年までのロードマップ

企業

企業はこれをマテリアリティの特定、長期シナリオ、中長期計画、SDGs計画の作成に活用する

GCNJ

GCNJ行動の10年計画を作成・実行し、未来への羅針盤を多くの企業へ普及させます。



未来への羅針盤

未来への羅針盤は2つの成果物から構成され、これらは皆さんの参加によって作成されます。

2050年のあるべき社会像

- 目標年が2050年のため、その頃を真剣に考えられる20代と30代により作成する。
- 「人とはなにか」「会社とは何か・なぜ存在するのか」を考え、それを踏まえて、日本のあるべき姿を再考する。

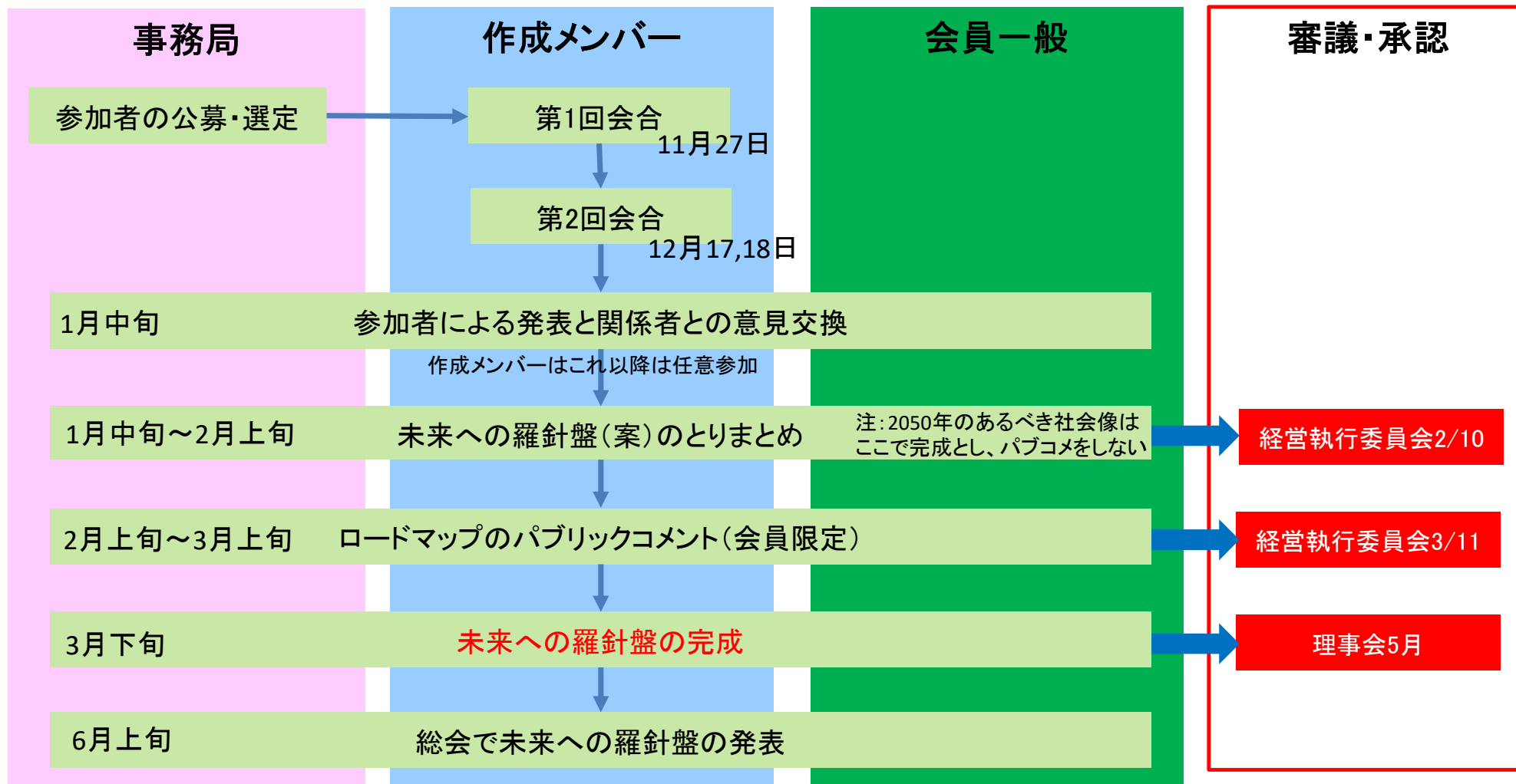
2030年までの日本企業にとってのロードマップ

- 目標年が2030年のため、若い世代の意見を軸に、幅広い皆さんの意見を入れて作成する。
- 2050年への中継点である2030年に、「日本はどのような課題設定を行い、どの方向に向かうか」「その中で自分はどうか」。一人一人が、その実現に向うために、「自分はどうか」を考える。
- ロードマップは多様な業種の企業のガイドとなるように幅広い内容をカバーする。

未来への羅針盤の作成のメイン軸は「人間」と「環境」に置きます。



作成作業のフロー





作成メンバーの公募方法

1. 希望する人物像: 既成概念や組織の論理にとらわれず、常に本質を考えて、自分の価値観で行動するような、20~30代の次世代リーダー
2. 定員: 16名以下。書類審査の他、年代・業種・会員/非会員・ジェンダーバランスを考慮して参加者を決定します。参加費は無料です。
3. 応募時の提出物
 - 応募申請書(添付)
 - 推薦書。会員の場合は上司など所属企業の方、会員以外は所属団体の方または知り合いの会員の方より、メールに下記3項目を記載して担当者へお送りください
 - ・応募者氏名
 - ・推薦者氏名、所属、役職、連絡先
 - ・推薦理由
4. 提出先及び問い合わせ担当者
土井 a.doi@ungcjin.org 庄司 y.shoji@ungcjin.org
5. 募集日程
 - 申込期間: 10月12日~11月13日
 - オンライン説明会: 10月19日16:00~17:00 (参加は任意)
 - <https://us02web.zoom.us/j/84528859875?pwd=djlxTUxXbHNWUWJEL3RmaGdocGxDdz09>
 - ミーティングID: 845 2885 9875 パスコード: 606045
 - インタビュー: 11月19日 (必要な場合)
 - 結果発表: 11月20日にメールでの詳細連絡をもって返させていただきます。



作成作業工程

作業テップ		方法	実行者	アウトプット	活用方法
第1回会合 (3時間)	11/27	<ul style="list-style-type: none"> 有馬代表理事による主旨説明(5分) 後藤敏彦氏より人権と環境についてのレクチャー(45分) 野村恭彦氏より2050年の社会像の考え方についてのレクチャー(45分) 日本ビジネスをどのような方向に向け活性化するか、フリートーク(80分) 	作成メンバー +ファシリテーター		<ul style="list-style-type: none"> 公募の作成メンバーが参加 基本的にオンライン作業が前提 初回だけは状況が良ければ実開催も検討
ホームワーク	11/28 ~ 12/16	<ul style="list-style-type: none"> 2050年の世界と、それに向かって直近10年間をどう行動すべきか、各自が考える 	作成メンバー 各自	<ul style="list-style-type: none"> 各自が2050年の世界と、2030年までにすべきことのイメージを持つ 	
第2回目(3時間) 「人間」グループ会合	12/17	<ul style="list-style-type: none"> 指数関数的変化で形成される社会像と、それに備えるロードマップを、個人でアウトプットしつつ、皆で話す。 各グループ内で意見をまとめる。 	作成メンバー +ファシリテーター	<ul style="list-style-type: none"> 2050年のあるべき社会像とロードマップ活動リスト案が共有される 	
第2回目(3時間) 「環境グループ」会合	12/18				
全体会合 (3時間)	1/15?	<ul style="list-style-type: none"> A,Bグループが、2050年のあるべき社会像とロードマップリストを発表する。 各参加者の上司、GCNJ理事、職員が参加し、質疑及び意見交換を行う。 	作成メンバー + GCNJ 理事、事務局員、関係者	<ul style="list-style-type: none"> 参加者以外の関係者が提案を理解する。 	
最終案のとりのまとめ	1/中旬 ~ 2/上	<ul style="list-style-type: none"> 提出された案を整理し、文章を整え、図表も追加して表現する 	事務局員+ 作成メンバー 有志	<ul style="list-style-type: none"> 2050年のあるべき社会像が完成 ロードマップは外部へ公開できるレベルになる 	
パブリックコメント	2/上 ~ 3/上	<ul style="list-style-type: none"> ロードマップのみパブリックコメントを行う 	事務局員	<ul style="list-style-type: none"> コメントを反映したロードマップが完成する 	
完成	3/31		事務局員		<ul style="list-style-type: none"> 企業が長期シナリオ、中長期計画、SDGs計画を作る際に活用 GCNJはこれを基に行動の10年計画を作成する。未来への羅針盤を多くの企業に普及することが、計画の上位目標となる。
2021年4月以降		行動計画の作成	事務局員 会員代表		
		行動計画の実行	事務局員		



作成作業の留意点

■ 懸念事項

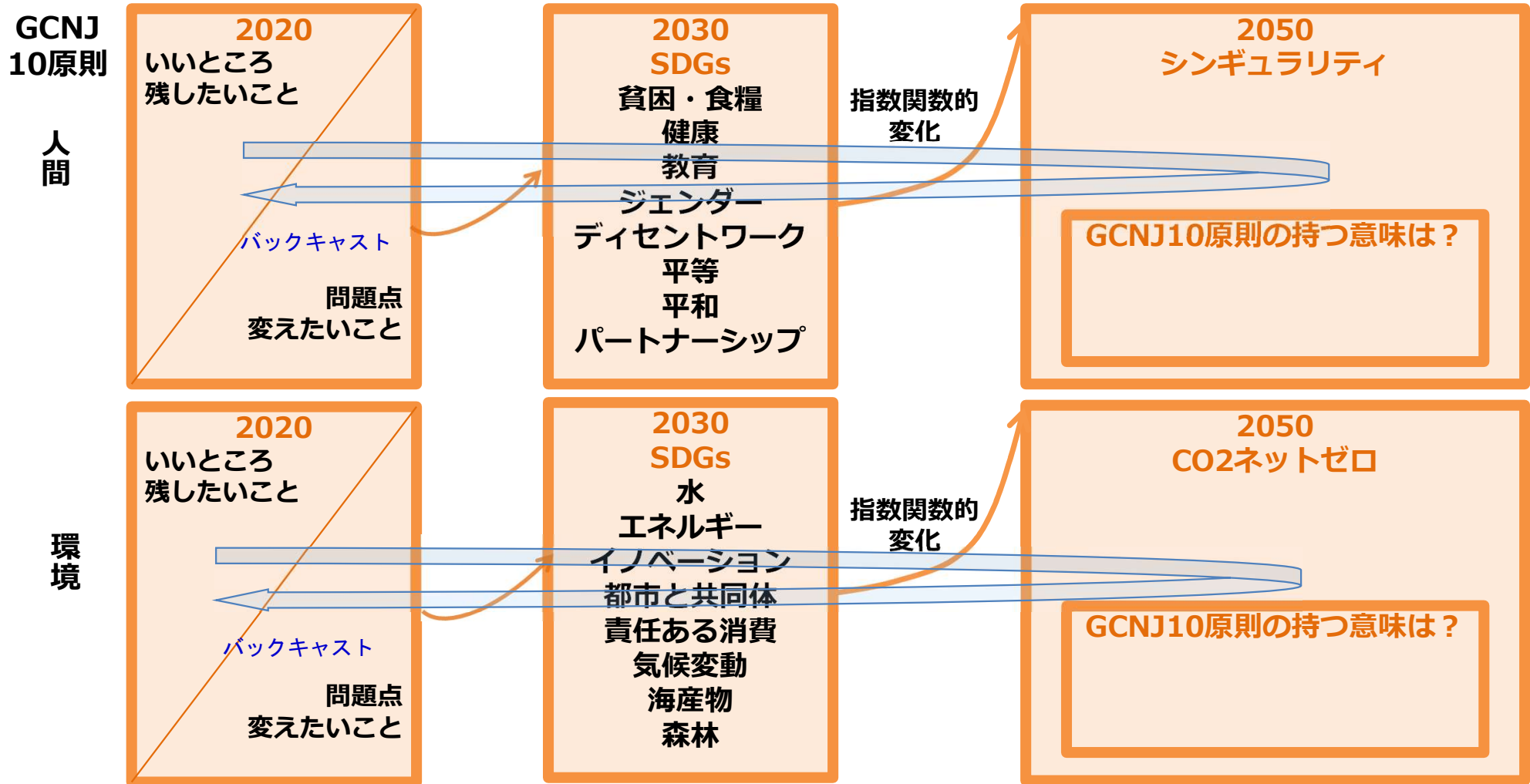
- バックキャストというのは容易いが、よほど工夫しない限りどうしてもフォアキャストになる。作成メンバーがフォアキャストにならず、既存概念にとらわれず、2050年を考えることができるのか？
- どのようなプロセスで意見を出させて集約するか？

- これら課題の対応策として、フューチャーセッションズの創業者であり、Slow Innovation代表の野村恭彦様の協力を得て行います。

■ 対応策

- 意見を出させ集約する方法として、議論のテーマを「人間」と「環境」の2つに分ける。
- 「人間」と「環境」がしっかりとリンクして議論が行われるように、初回に後藤敏彦GCNJ理事が人権と環境の講演を行う。
- フォアキャストにならず議論が行われるように、初回に野村恭彦氏が考え方の講義を行い、1回目、2回目のファシリテーションを行う。また、完成までアドバイスをもらう。

GCNJの未来の羅針盤_フレームワーク





Global Compact Network Japan

<http://www.ungcn.org>

Find us on social media

Facebook: @ungcnj Twitter: @GlobalCompactJP